

伊万里地区新高校再編整備実施計画

平成 30 年 3 月 29 日
佐 賀 県 教 育 委 員 会

目次

	頁
検討の趣旨	1
「伊万里地区新高校設置準備委員会」での検討経過・	1
計画の内容	
1 校名	2
2 めざす学校像	3
3 全日制課程	
(1) 学級編制と学科の特色	5
(2) 教育課程	9
(3) 特色ある教育活動	14
(4) 校時	15
(5) 校舎制	18
校舎間移動	
部活動	
学校行事	
4 定時制課程	19
資料1 新高校設置準備委員会設置要領	
資料2 伊万里地区新高校設置に向けた検討体制	
資料3 伊万里地区新高校設置準備委員会委員構成	

検討の趣旨

佐賀県教育委員会は、平成 26 年 12 月に「新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第 1 次）」を策定し、伊万里農林高等学校及び伊万里商業高等学校の再編を決定した。

計画では、平成 31 年度に現在の伊万里農林高等学校（1 学年 120 人（3 学級規模））及び伊万里商業高等学校（1 学年 120 人（3 学級規模））を再編して、200 人（5 学級規模）とし、学科については現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討することとした。

これを踏まえ、伊万里地区新高校の具体的な在り方等を検討するために、平成 27 年 4 月に伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校、両高等学校の同窓会・PTA、地元中学校、伊万里市の関係者や教育長並びに佐賀県教育委員会の関係者からなる「伊万里地区新高校設置準備委員会」を立ち上げ、魅力ある新高校づくりを目指した検討を行ってきた。

「伊万里地区新高校設置準備委員会」での検討経過

平成 27 年度から 29 年度にかけて、「伊万里地区新高校設置準備委員会」を 12 回開催し、新高校設置に向けた検討を行ってきた。また、この委員会は公開とし、その都度、県のホームページ等を通じて、開催案内や協議事項概要等の報告を行い、県民への情報提供に努めた。

これまでの設置準備委員会開催日及び主な検討事項は、次のとおりである。

回	日付	主な検討項目
第 1 回	平成 27 年 5 月 27 日（水）	・委員委嘱 ・新実施計画の概要 ・めざす学校像 ・新高校設置準備委員会検討スケジュール
第 2 回	平成 27 年 7 月 31 日（金）	・めざす学校像 ・学科構成
第 3 回	平成 27 年 10 月 26 日（月）	・めざす学校像 ・学科構成 ・校地
第 4 回	平成 28 年 1 月 15 日（金）	・学科構成（地元産業界代表意見聴取） ・校地
第 5 回	平成 28 年 5 月 20 日（金）	・学科構成 ・校地 伊万里農林高等学校 校地見学
第 6 回	平成 28 年 8 月 30 日（火）	・学科構成 ・校地 伊万里商業高等学校 校地見学
第 7 回	平成 28 年 11 月 1 日（火）	・学科構成 ・校地
第 8 回	平成 29 年 1 月 26 日（木）	・校地 ・新高校の校名の検討方法
第 9 回	平成 29 年 5 月 26 日（金）	・新高校の校名の検討方法 ・新高校の校章、校歌、制服の検討方法
第 10 回	平成 29 年 8 月 30 日（水）	・学科の教育内容 ・校舎制 ・新高校の校章、校歌、制服の検討状況
第 11 回	平成 29 年 11 月 2 日（木）	・学校行事 ・部活動 ・校時 ・新高校の校名（検討結果報告） ・校舎の名称
第 12 回	平成 30 年 1 月 26 日（金）	・伊万里地区新高校再編整備実施計画（案）

計画の内容

1 校名

佐賀県立伊万里実業高等学校

(さがけんりつ いまりじつぎょう こうとうがっこう)

開校時期 : 平成 31 年 4 月

課 程 : 全日制課程・定時制課程

設置場所及び学科

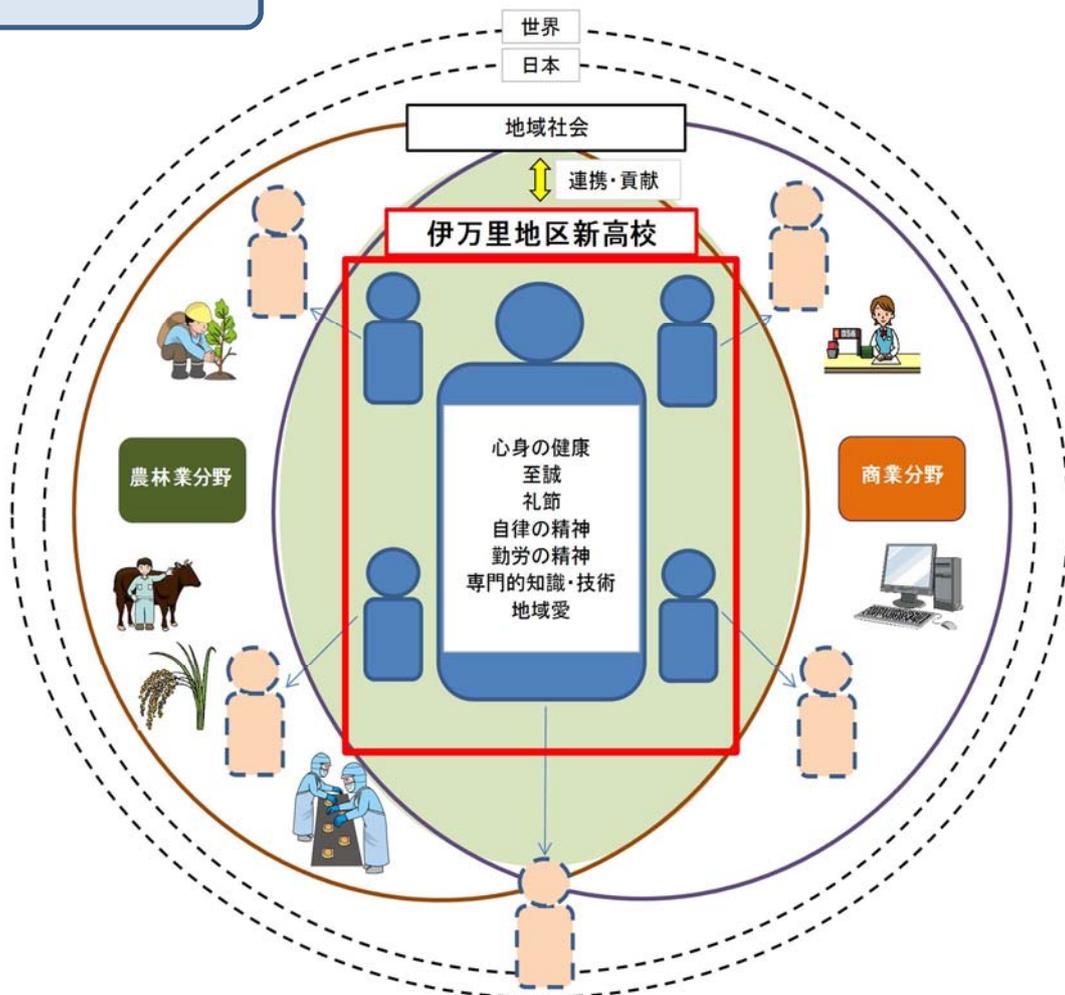
校舎名	農林キャンパス (再編前の伊万里農林高等学校校舎 <校地>)	商業キャンパス (再編前の伊万里商業高等学校校舎 <校地>)
設置場所	〒848-0035 佐賀県伊万里市二里町大里乙 1414	〒848-0028 佐賀県伊万里市脇田町 1376
学 科 (○大学科 ・小学科)	【全日制課程】 ○農業科 ・生物科学科 ・森林環境科 ・フードビジネス科(2・3年)	【全日制課程】 ○商業科 ・商業科 ・情報処理科 ○農業科 ・フードビジネス科(1年) 【定時制課程】 ○商業科 ・商業科

(再編前の伊万里農林高等学校及び再編前の伊万里商業高等学校の両校舎(校地)を利用する「校舎制」をとる。)

2 めざす学校像

心身ともに健康でたくましく、至誠と礼節を重んじ、自律と勤労の精神のもと、研鑽を積んだ専門的知識・技術と創造力で社会に貢献する人材を育成し、生徒一人ひとりが地域を愛し、夢に向かって挑戦していく学校。

新高校のイメージ図



【伊万里実業高等学校コンセプト（グランドデザイン）】（案）



3 全日課程

(1) 学級編制と学科の特色

学級編制

新高校では、平成31年度（開校時）に農業科3学級、商業科2学級とする。

	伊万里農林高等学校	伊万里商業高等学校
平成30年度まで (現在)	< 農業科 > 120人 (3学級) 生物生産科 40人 1学級 食品化学科 40人 1学級 森林工学科 40人 1学級	< 商業科 > 120人 (3学級) 商業科 80人 2学級 情報処理科 40人 1学級



校名 キャンパス	伊万里実業高等学校 (農業科 120人 商業科 80人 計200人 (5学級) / 学年)	
	農林キャンパス	商業キャンパス
年度等		
平成31年度	< 農業科 > 80人 (2学級) 生物科学科 40人 1学級 森林環境科 40人 1学級	< 商業科 > 80人 (2学級) 商業科 40人 1学級 情報処理科 40人 1学級
5学級 200人	フードビジネス科 (2年生・3年生) 平成32年度以降	< 農業科 > 40人 (1学級) フードビジネス科 (1年生) 40人 1学級

【年次進行】

平成29年度及び平成30年度入学生は伊万里農林高等学校又は伊万里商業高等学校の在籍とし、平成31年度以降の入学生は伊万里実業高等学校の在籍とする。

	伊万里実業高等学校		伊万里農林高等学校	伊万里商業高等学校		
	農林キャンパス	商業キャンパス				
平成31年度	1年	生物科学科 森林環境科	2年	生物生産科 食品化学科 森林工学科	2年	商業科 情報処理科
			3年	生物生産科 食品化学科 森林工学科	3年	商業科 情報処理科
平成32年度	1年	生物科学科 森林環境科	3年	生物生産科 食品化学科 森林工学科	3年	商業科 情報処理科
	2年	生物科学科 森林環境科 フードビジネス科				
平成33年度	1年	生物科学科 森林環境科				
	2年	生物科学科 森林環境科 フードビジネス科				
	3年	生物科学科 森林環境科 フードビジネス科				

伊万里農林高等学校及び伊万里商業高等学校に入学した者は、それぞれの高等学校を卒業することとなる。

伊万里農林高等学校については、平成32年度末に閉校する。

伊万里商業高等学校については、平成32年度末に商業科及び情報処理科を閉科する。閉校は定時制課程が終了する平成33年度末となる。

学科の特色

農業科

生物科学科	
目 標	動植物に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、将来、農業や農業関連産業を通じて地域社会に貢献する人材を育てる。
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ◎植物の栽培、動物の飼育の知識・技術を基礎から応用まで学習する。 ◎実習を通じて、学習をより身近なものにし、農業についての理解を深める。 ◎農業に関する資格（日本農業技術検定）等、幅広い分野の資格取得を目指す。 ◎交流を通じて、地域貢献できる喜びを体験し、社会性を身に付ける。 ◎2年次より、植物コースと動物コースに分かれて学習する。 ◎動植物の生産・飼育をベースとした6次産業化に対応した選択科目を設定する。 植物コースは、果樹、野菜、草花の栽培 動物コースは、産業動物（大家畜）と社会動物（小動物）の飼育
専門科目	<ul style="list-style-type: none"> ・農業と環境 ・課題研究 ・総合実習 ・農業情報処理 ・作物 ・野菜 ・果樹 ・草花 ・畜産 ・農業経済 ・農業機械 ・食品製造 ・植物バイオテクノロジー ・農業経済 ・生物活用 ・動物科学 ・グリーンライフ
取得可能な資格	<ul style="list-style-type: none"> ・日本農業技術検定 ・室内園芸装飾技能検定 ・フラワー装飾技能検定 ・溶接（アーク・ガス）技能 ・危険物取扱者丙種/乙種 ・小型車両系建設機械 等

森林環境科	
目 標	森林の育成保護とその利用、自然環境の保全、農業土木の基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、将来、林業・農業土木・地域環境保全を担う人材を育てる。
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ◎県内唯一の林業を学ぶ学科として、森林の育成保護とその利用、自然環境の保護等について学ぶ。 ◎学科の特徴を活かした資格（測量士補、造園技能士、土木施工管理技士）やその他の資格（危険物、チェーンソー、小型フォークリフト等）を取得できる。 ◎2年次より、森林コースと地域環境コースに分かれて学習し、林業や土木関係の進路に対応する能力を養う。
専門科目	<ul style="list-style-type: none"> ・測量 ・農業と環境 ・総合実習 ・農業情報処理 ・課題研究 ・造園計画（林） ・造園技術（林） ・森林経営（林） ・森林科学（林） ・林産物利用（林） ・農業土木施工（環） ・農業土木設計（環） ・水循環（環） 森林コースは（林） 地域環境コースは（環）
取得可能な資格	<ul style="list-style-type: none"> ・測量士補 ・造園技能士 ・土木施工管理技術検定 ・チェーンソー取扱者 ・刈払機取扱者 ・危険物取扱者丙種/乙種 ・小型フォークリフト 等

フードビジネス科	
目 標	食品に関する基礎的・基本的な知識と技術、及び社会のニーズに合わせた商品開発や経営について体験的に習得させ、将来、加工品（商品）を製造し、販売できるスペシャリストを育てる。
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ◎食品分野全般（食品製造、食品化学、微生物利用、食品流通等）に係る科目と商業科目（ビジネス基礎等）を設定し、6次産業化に対応した学習活動ができる。 ◎各種検定（簿記、販売士）等の資格取得を目指す。 ◎ビジネス社会で必要な礼儀、作法を身に付ける。 ◎SBP（ソーシャルビジネスプロジェクト）活動を推進する。 ◎2年次より、フードサイエンスコースとフードマーケティングコースを設定し、生徒の興味関心や進路に応じた、より専門的な知識・技術を習得させる。
専門科目	<p>【農業科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業と環境 ・食品製造 ・食品化学 ・微生物利用 ・食品流通 ・農業情報処理 ・総合実習 ・課題研究 <p>【商業科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス基礎 ・簿記 ・マーケティング ・広告と販売促進
取得可能な資格	<ul style="list-style-type: none"> ・販売士 ・日本語ワープロ検定 ・情報処理技能検定 ・日本農業検定 ・ボイラー取扱技能者 ・危険物取扱者丙種/乙種 等

商業科

商業科	
目 標	商業全般に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、将来、地域産業（事務、販売、流通分野）を担う人材を育てる。
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ◎幅広く商業全般（ビジネス基礎、簿記、情報処理等）について学習し、さらに生徒の興味関心・進路に応じた選択制をとり、専門的知識・技術を学習する。 ◎各種検定試験（簿記、情報処理）等の資格取得を目指す。 ◎ビジネス社会に必要な礼儀、作法を身に付ける。
専門科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス基礎 ・簿記 ・情報処理 ・財務会計 ・原価計算 ・マーケティング ・ビジネス経済 ・課題研究 ・総合実践 ・ビジネス情報 ・広告と販売促進 ・経済活動と法
取得可能な資格	<ul style="list-style-type: none"> ・日商簿記検定 ・全商簿記検定 ・全商ビジネス文書実務検定 ・全商情報処理検定 ・全商珠算電卓検定 ・全商英語検定 ・全商商業経済検定 等

情報処理科	
目 標	コンピュータの実用的な知識と技術を習得させ、将来、高度情報化社会で積極的に活躍できるITスペシャリストを育てる。
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ◎情報処理に関する幅広い知識と技術を習得する。 ◎これから進展する高度情報化社会で安全に情報を活用するための関連法規や情報セキュリティを学ぶ。 ◎情報関連の検定や経済産業省の国家資格（上級資格）等の取得を目指す。 ◎企業内の情報化を推進し、システム運用ができる情報管理者の育成を目指す。 ◎国公立大学等への進学を目指す。
専門科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス基礎 ・簿記 ・情報処理 ・財務会計 ・ビジネス情報 ・プログラミング ・課題研究 ・マーケティング ・原価計算 ・ビジネス情報管理
取得可能な資格	<ul style="list-style-type: none"> ・基本情報処理技術者検定（国） ・ITパスポート（国） ・全商情報処理検定 ・全商ビジネス文書実務検定 ・全商簿記検定 ・全商珠算電卓検定 等

(2) 教育課程

農業科

【生物科学科】

平成31年度入学生 教育課程表(案)

全日課程 農業科(生物科学科)

教科・科目			入学年度	平成31年度入学生						
			学年	1年	2年		3年		計	
			標準単位		植物コース	動物コース	植物コース	動物コース	植物コース	動物コース
各教科に共通する教科・科目	国語	国語総合	4	3	3				6	
		現代文A	2				3		3	
	地理歴史	世界史A	2	2					2	
		日本史A	2						0, 2	
		地理A	2						0, 2	
	公民	現代社会	2		2				2	
		政治経済	2						0, 2	
	数学	数学	3	3	2				5	
		数学	4						0, 3	
		数学A	2				2		2	
	理科	科学と人間生活	2	2					2	
		生物基礎	2		2				2	
	保健体育	体育	7~8	2	2		3		7	
		保健	2	1	1				2	
	芸術	音楽	2	}					0, 2	
美術		2					0, 2			
書道		2					0, 2			
外国語	コミュニケーション英語	3	3					3		
	コミュニケーション英語	4						0, 4		
	英語会話	2						0, 2		
家庭情報	家庭総合	4	2	2				4		
	社会と情報	2								
各学科に共通する教科・科目小計				20	16		12, 15		48, 51	
主として専門学科において開設される教科・科目	農業	農業と環境	2~6	3					3	
		課題研究	2~6				2		2	
		総合実習	2~12	3	3		1		7	
		農業情報処理	2~6	2	2				4, 6	
		作物	2~8						0, 3	
		野菜	2~8		2				2, 6	
		果樹	2~8		2				2, 6	
		草花	2~8		2				2, 6	
		畜産	2~8				4		4	
		農業機械	2~6						0, 2	
		食品製造	2~8						0, 2	
		植物バイオテクノロジー	2~6	2					2	
		農業経済	2~8				2		2	
		生物活用	2~6		2		2		4	
		グリーンライフ	2~6						0, 2	
動物科学	2~10				2		4			
校外学習活動	就業体験	1~20								
	知識及び技能審査									
主として専門学科において開設される教科・科目小計				10	13		15, 18		38, 41	
総合的な学習の時間						1		1		
履修単位の計				30	30		30		90	
特別活動	ホームルーム活動(週あたりの時間数)			1	1		1		3	
	生徒会活動			別途計画						
学校行事			別途計画							

<備考>

- は選択科目である。
- 共通教科選択者は の科目、専門教科選択者は の科目を選択する。
- 科目「総合実習」については、以下のとおりとする。
 - ・ 1年次は、野菜、果樹、草花、畜産の4パート
 - ・ 2年次は、植物コース(野菜・果樹・草花)、動物コース(畜産)の4パート
 - ・ 各学年1単位分(時間割外)は長期休業中に実施(内容は時間割内に準ずる)
- 科目「動物科学」の3年次は、産業動物又は愛玩動物の専攻制とする。
- 科目「社会と情報」の2単位は、1年次の「農業情報処理」の2単位で代替する。
- 「総合的な学習の時間」の3単位の内、2単位分を科目「課題研究」で代替する。

【森林環境科】

平成31年度入学生 教育課程表（案）

全日制課程 農業科（森林環境科）

教科・科目		入学年度 学年 標準単位	平成31年度入学生							
			1年	2年		3年		計		
				地域環境 コース	森林 コース	地域環境 コース	森林 コース	地域環境 コース	森林 コース	
各教科に共通する教科・科目	国語	国語総合	4	3	3				6	
		現代文A	2				3		3	
	地理歴史	世界史A	2	2					2	
		日本史A	2]		0, 2	
		地理A	2						0, 2	
	公民	現代社会	2		2				2	
		政治経済	2]		0, 2	
	数学	数学	3	3	2				5	
		数学	4]		0, 3	
		数学A	2				2		2	
	理科	科学と人間生活	2	2]		2	
		生物基礎	2		2				2	
	保健体育	体育	7~8	2	2		3		7	
		保健	2	1	1				2	
	芸術	音楽	2]					0, 2	
		美術	2						0, 2	
		書道	2						0, 2	
外国語	コミュニケーション英語	3	3]		3		
	コミュニケーション英語	4		[0, 4		
	英語会話	2						0, 2		
家庭情報	家庭総合	4	2	2				4		
	社会と情報	2								
各学科に共通する教科・科目小計			20	16		12, 15		48, 51		
主として専門学科において開設される教科・科目	農業	農業と環境	2~6	2]		2	
		課題研究	2~6				2		2	
		総合実習	2~12	3	3]		7, 10	
		農業情報処理	2~6	2			2, 1		4, 2	
		森林科学	2~8		3		2		5	
		森林経営	2~8				2		2	
		林産物利用	2~8		2		3		5	
		農業土木設計	2~8		3		3		6	
		農業土木施工	2~6				3		3	
		水循環環境	2~6		4		2		6	
		造園計画	2~6		2		2		4	
		造園技術	2~8				3		3	
測	測量	2~8	3	3		2		8, 6		
校外学習活動	就業体験 知識及び技能審査	1~20								
主として専門学科において開設される教科・科目小計			10	13		15, 18		38, 41		
総合的な学習の時間				1				1		
履修単位の計			30	30		30		90		
特別活動	ホームルーム活動(週あたりの時間数)		1	1		1		3		
	生徒会活動									
学校行事								別途計画		

<備考>

は選択科目である。

共通教科選択者は の科目、専門教科選択者は の科目を選択する。

科目「総合実習」については、以下のとおりとする。

- ・ 1年次は、土木、林業の2パート
- ・ 2年次は、土木コース（測量）、林業コース（造園計画・林産物利用）の2パート
- ・ 各学年1単位分（時間割外）は長期休業中に実施（内容は時間割内に準ずる）

科目「社会と情報」の2単位は、1年次の「農業情報処理」の2単位で代替する。

「総合的な学習の時間」の3単位の内、2単位分を科目「課題研究」で代替する。

【フードビジネス科】

平成31年度入学生 教育課程表（案）

全日制課程 農業科（フードビジネス科）

教科・科目			入学年度	平成31年度入学生						
			学年	1年	2年		3年		計	
			標準単位		フードサイエンスコース	フードマーケティングコース	フードサイエンスコース	フードマーケティングコース	フードサイエンスコース	フードマーケティングコース
各教科に共通する教科・科目	国語	国語総合	4	3	3				6	
		現代文A	2			3			3	
	地理歴史	世界史A	2	2					2	
		日本史A	2						0, 2	
	公民	地理A	2						0, 2	
		現代社会	2		2				2	
	数	政治経済	2						0, 2	
		数学	3	3	2				5	
	理科	数学	4						0, 3	
		数学A	2			2			2	
	保健体育	科学と人間生活	2	2					2	
		化学基礎	2		2				2	
	芸術	生物基礎	2				2		2	
		体育	7~8	2	2		3		7	
	外国語	保健	2	1	1				2	
音楽		2						0, 2		
家庭情報	美術	2						0, 2		
	書道	2						0, 2		
家庭情報	コミュニケーション英語	3	3					3		
	コミュニケーション英語	4						0, 4		
家庭情報	英語会話	2						0, 2		
	家庭基礎	2		2				2		
家庭情報	社会と情報	2								
	各学科に共通する教科・科目小計		18	16	14, 17	48, 51				
主として専門学科において開設される教科・科目	農	農業と環境	2~6	3				3		
		課題研究	2~6				2	2		
		総合実習	2~12	1	3		3	7		
		農業情報処理	2~6				2	2		
		食品製造	2~8		2		2	4		
		食品化学	2~8		2		2	4		
		微生物利用	2~6		2		2	4		
	商	食品流通	2~6		2		2	4		
		食品衛生学	2~6		2		2	4		
		ビジネス基礎	2~4	2				2		
家庭	マーケティング	2~4			2		2			
	広告と販売促進	2~4			2		2			
校外学習活動	簿記	2~5	4				4			
	情報処理	2~4	2				2			
校外学習活動	フードデザイン	2~6					0, 3			
	就業体験	1~20								
特別活動	知識及び技能審査	1~20								
	主として専門学科において開設される教科・科目小計		12	13	13, 16	38, 41				
総合的な学習の時間				1			1			
履修単位の計			3.0	3.0	3.0	9.0				
ホームルーム活動(週あたりの時間数)			1	1	1	3				
生徒会活動			別途計画							
学校行事			別途計画							

<備考>

は選択科目である。

共通教科選択者は の科目、専門教科選択者は の科目を選択する。

科目「総合実習」については、以下のとおりとする。

- ・ 2年次は、食品製造、食品化学、微生物利用の3パート
- ・ 3年次は、食品製造、食品化学、食品流通の3パート
- ・ 各学年1単位分（時間割外）は長期休業中に実施（内容は時間割内に準ずる）

科目「社会と情報」の2単位は、1年次の科目「情報処理」の2単位で代替する。

「総合的な学習の時間」の3単位の内、2単位分を科目「課題研究」で代替する。

商業科

【商業科】

平成31年度入学生 教育課程表（案）

全日制課程 商業科（商業科）

教科・科目			入学年度	平成31年度入学生			
			学年	1年	2年	3年	計
			標準単位				
各教科に共通する教科・科目	国語	国語総合	4	3			3
		国語表現	3				0, 3
		現代文B	4		3	2	5
	地理歴史	世界史A	2	2			2
		日本史A	2				0, 2
		地理A	2				0, 2
	公民	現代社会	2		2		2
	数学	数学	3	3			3
		数学	4		2	2	4
		数学A	2				0, 3
	理科	科学と人間生活	2	2			2
		生物基礎	2		2		2
	保健体育	体育7~8		2	2	3	7
		保健	2	1	1		2
	芸術	書道	2	2			2
	外国語	コミュニケーション英語	3	3			3
		コミュニケーション英語	4		3	3	6
	家庭	家庭総合	4		2	2	4
	情報	社会と情報	2				
	各学科に共通する教科・科目小計				18	17	14, 17
主として専門学科において開設される教科・科目	商業	ビジネス基礎	2~4	2			2
		課題研究	2~6			3	3
		総合実践	2~6			3	3
		マーケティング	2~4				0, 3
		広告と販売促進	2~4			3	3
		ビジネス経済応用	2~4				0, 3
		経済活動と法	2~4				0, 3
		簿記	2~5	6			6
		財務会計	2~4				4, 5
		原価計算	2~4				3, 5
		情報処理	2~4	3	2		5
ビジネス情報	2~4			3	3		
主として専門学科において開設される教科・科目小計				11	12	12, 15	35, 38
総合的な学習の時間							
履修単位の計				29	29	29	87
特別活動	ホームルーム活動(週あたりの時間数)			1	1	1	3
	生徒会活動			別途計画			
	学校行事						

< 備考 >

は選択科目である。
 、 は、それぞれをまとめて選択する。
 科目「社会と情報」の2単位は、1年次の科目「情報処理」の2単位で代替する。
 「総合的な学習の時間」の3単位は、科目「課題研究」で代替する。

【情報処理科】

平成31年度入学生 教育課程表（案）

全日制課程 商業科（情報処理科）

教科・科目		入学年度	平成31年度入学生				
			学年	1年	2年	3年	計
各教科に共通する教科・科目	国語	国語総合	4	3			3
		国語表現	3				0, 3
		現代文B	4		3	2	5
	地理歴史	世界史A	2	2			2
		日本史A	2				0, 2
		地理A	2				0, 2
	公民	現代社会	2		2		2
	数学	数学	3	3			3
		数学	4		2	2	4
		数学A	2				0, 3
	理科	科学と人間生活	2	2			2
		生物基礎	2		2		2
	保健体育	体育7~8	7~8	2	2	3	7
		保健	2	1	1		2
	芸術	書道	2	2			2
	外国語	コミュニケーション英語	3	3			3
		コミュニケーション英語	4		3	3	6
	家庭	家庭総合	4		2	2	4
	情報	社会と情報	2				
	各学科に共通する教科・科目小計			18	17	14, 17	49, 52
主として専門学科において開設される教科・科目	商業	ビジネス基礎	2~4	2			2
		課題研究	2~6			3	3
		マーケティング	2~4			2	2
		ビジネス経済応用	2~4				0, 3
		経済活動と法	2~4				0, 3
		簿記	2~5	3			3
		財務会計	2~4		4		4
		原価計算	2~4			3	3
		情報処理	2~4	6			6
		ビジネス情報	2~4		3		3
プログラミング	2~4		5		5		
ビジネス情報管理	2~5			4	4		
主として専門学科において開設される教科・科目小計			11	12	12, 15	35, 38	
総合的な学習の時間							
履修単位の計			29	29	29	87	
特別活動	ホームルーム活動（週あたりの時間数）		1	1	1	3	
	生徒会活動		別途計画				
	学校行事						

< 備考 >

は選択科目である。
 科目「社会と情報」の2単位は、1年次の科目「情報処理」の2単位で代替する。
 「総合的な学習の時間」の3単位は、科目「課題研究」で代替する。

(3) 特色ある教育活動

農業科及び商業科のコラボレーションによる教育活動

- ・ 農業科及び商業科を併置した専門高校として、両学科の特色を生かしたコラボレーション（連携・共同作業）による教育活動の機会を設定していく。例えば、商品の共同開発、農業科が行う農産物の販売実習への商業科の協力、農業科がブランド化した加工品の商業科による販売促進等である。農業科及び商業科の生徒が交流し、体験的に学習できる場面を多くし、柔軟な発想を持ち、社会で活躍できる人材を育てていく。
- ・ 農業科に「フードビジネス科」を新設し、社会の潮流である「6次産業化」に対応した教育活動を行う。教育課程に農業科及び商業科の両方の専門科目を設け、生徒を1年次に商業キャンパス、2・3年次に農林キャンパスに配置することで、両学科の基礎的・基本的事項をより習得しやすい教育環境を設定する。

多様化する進路状況に応じた教育内容の導入

生徒の多様化する進路状況を踏まえ、農業科では、6次産業化に応じた教育活動以外にも、園芸作物の栽培・活用を通じたフラワーアレンジメント等の学習、社会動物(小動物)の飼育・活用、水環境をキーワードとした伊万里地域の環境保全に配慮した土木工学等、生物や環境の応用的な面を教育内容に取り入れる。また、商業科では、高度資格の取得を目指しつつ、就職のみならず国公立大学等への進学面にも配慮した教育活動を行う。

(4) 校時

両キャンパスとも共通の時間帯とし、1日当たり50分×6限(週30時間設定)とする。また、帰りホームルームを15時45分開始とすることで、放課後の部活動に係る移動に対応できるようにする。

<校時表(案)>

50分授業	
朝学習 朝読書	8:35 ~ 8:50
朝ホームルーム	8:50 ~ 9:00
1限目	9:05 ~ 9:55
2限目	10:05 ~ 10:55
3限目	11:05 ~ 11:55
4限目	12:05 ~ 12:55
昼休み	12:55 ~ 13:40
掃除	13:40 ~ 13:50
5限目	13:55 ~ 14:45
6限目	14:55 ~ 15:45
帰りホームルーム	15:45 ~

【参考資料】

1 登下校時の公共交通機関の時刻表（平成30年3月17日現在）

JR 筑肥線	登校時				下校時			
	唐津駅	山本駅	桃川駅	伊万里駅	伊万里駅	桃川駅	山本駅	唐津駅
	5:28	5:39	6:08	6:20	16:21	16:33	17:04	17:13
	6:41	6:51	7:20	7:33	17:42	17:54	18:25	18:34
					18:54	19:06	19:36	19:46
				20:30	20:42	21:12	21:21	

松浦鉄道 西九州線	登校時				下校時			
	有田駅	西有田駅	川東駅	伊万里駅	伊万里駅	川東駅	西有田駅	有田駅
有田方面	6:06	6:17	6:32	6:34	16:21	16:24	16:37	16:46
	6:32	6:41	6:59	7:01	17:03	17:06	17:21	17:29
	7:00	7:09	7:26	7:28	17:29	17:32	17:45	17:53
	7:27	7:36	7:53	7:55	18:11	18:14	18:27	18:36
	7:48	7:59	8:16	8:19	18:42	18:44	18:58	19:06
					19:18	19:21	19:35	19:44
					20:05	20:08	20:22	20:31
山代方面	今福駅	久原駅	東山代駅	伊万里駅	伊万里駅	東山代駅	久原駅	今福駅
	5:44	5:56	6:06	6:10	17:03	17:08	17:18	17:29
	6:33	6:44	6:54	6:58	17:25	17:29	17:39	17:49
	7:31	7:42	7:52	7:56	18:41	18:46	18:56	19:07
					19:42	19:46	19:56	20:07
					20:42	20:46	20:56	21:07

西肥バス	登校時				下校時		
	福島支所前	黒川	伊万里駅前	伊万里農林 高校前	伊万里駅前	黒川	福島支所前
福島－伊万里線	6:30	6:51	7:08	—	17:05	17:21	17:44
	7:10	7:32	7:49	7:55	18:05	18:21	18:44
					19:10	19:28	19:51
					20:15	20:31	20:53
三間坂－伊万里線	三間坂駅前	宮野	伊万里駅前	伊万里農林 高校前	伊万里駅前	宮野	三間坂駅前
	6:45	6:50	7:10	—	16:57	17:17	17:21
	7:25	7:30	7:51	7:57	18:52	19:12	19:16

昭和バス	登校時			下校時		
	北波多	南波多 中学校下	伊万里駅前	伊万里駅前	南波多 中学校下	北波多
唐津－伊万里線	6:55	7:06	7:20	17:20	17:34	17:45
	—	7:22	7:36	18:45	18:59	19:10

2 校舎間地図



(5) 校舎制

校舎間移動

校舎間距離：3.7km

生徒の移動

- ・ 授業、学校行事、部活動で移動の必要性が生じた場合は、バス等の手配も検討する。
- ・ 商業キャンパスに配置するフードビジネス科1年生の実習を伴う農業科の専門科目の授業は、実習施設がある農林キャンパスで行うことが想定される。このことに係る移動の必要性については、今後、教育課程の調整を行う中で検討する（フードビジネス科1年生の移動負担の軽減等を踏まえ、再編前の伊万里商業高等学校体育館南側の県有地を実習等で活用することを考慮する）。

部活動

再編前の伊万里農林高等学校及び再編前の伊万里商業高等学校に設置されている部活動は、原則として新高校でも存続させる。

<設置部活動(案)>

体育系	文化系
野球(男)	レオクラブ・ボランティア
バスケットボール(男女)	生活文化・家庭
バレーボール(女)	茶華道
ソフトテニス(男女)	パソコン・OA技術
卓球(男女)	美術
剣道(男女)	太鼓
陸上競技(男女)	珠算・電卓
カヌー(男女)	簿記
ソフトボール(女)	ブラスバンド
ホッケー(男女)	情報処理
柔道(男女)	

部の統廃合や各校舎での配置については、今後調整を行う。

学校行事

学校としての一体感を醸成するために、以下の合同行事を設定する。

<合同で実施する主な行事(案)>

入学式、1年宿泊研修、体育祭、修学旅行、芸術鑑賞会、課題研究発表会、卒業式

再編前の伊万里農林高等学校及び再編前の伊万里商業高等学校の既存の行事を基本とし、各校舎で開催する行事と両校舎合同で開催する行事については、今後調整を行う。

4 定時制課程

(1) 学級編制

定時制課程については、再編前の伊万里商業高等学校の定時制課程を継続する。

平成30年度まで (現在)	伊万里商業高等学校
	<商業科> 40人(1学級) 商業科 40人1学級



平成31年度	伊万里実業高等学校
	<商業科> 40人(1学級) 商業科 40人1学級

配置は商業キャンパスとする。

(2) 年次進行

平成28年度から平成30年度入学生は伊万里商業高等学校の在籍とし、平成31年度以降の入学生は伊万里実業高等学校の在籍とする。

学校名等 年度	伊万里実業高等学校 (商業キャンパス)		伊万里商業高等学校	
	在籍学年	備考	在籍学年	備考
平成31年度	1年	開校	2年 3年 4年	平成28年度 入学生(4年)
平成32年度	1年 2年		3年 4年	平成29年度 入学生(4年)
平成33年度	1年 2年 3年		4年	平成30年度 入学生(4年)
平成34年度	1年 2年 3年 4年 (全学年)			

伊万里商業高等学校に入学した者は、その高等学校を卒業することとなる。

なお、伊万里商業高等学校については、平成33年度末に閉校する。

新高校設置準備委員会設置要領

平成14年10月21日
佐賀県教育委員会教育長決定
一部改正 平成17年4月 1日
一部改正 平成18年7月12日
一部改正 平成21年4月 1日
一部改正 平成27年4月 1日

(設置)

- 第1条 佐賀県立高等学校再編整備実施計画に定める再編等によって設置される高校(以下「新高校」という。)の具体的な在り方等を検討するために、県立高等学校再編整備推進本部設置要綱第7条の規定に基づき、新高校設置準備委員会(以下「委員会」という。)を設置する。
- 2 委員会は、新高校ごとに別表のとおり設置する。

(所掌事項)

- 第2条 委員会は、次の各号に掲げる具体的な検討を行う。
- 一 新高校の教育内容及び管理運営等に関すること
 - 二 新高校の施設・設備に関すること
 - 三 新高校への円滑な移行に関すること
 - 四 前号に掲げるもののほか、検討を要すること

(組織)

- 第3条 委員会の委員は、再編等整備の対象となる学校(以下「再編等対象校」という。)の校長、教職員、県教育委員会事務局関係者及び地域関係者のうちから教育長が委嘱する。
- 2 委員会には委員長及び副委員長を置き、再編等対象校関係委員の中から教育長が指名する。
 - 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。
 - 4 委員長は、必要と認めるときは、委員会に作業部会を設置することができる。

(会議)

- 第4条 委員会は、委員長が招集し、主宰する。
- 2 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(事務局)

- 第5条 委員会の事務局は、委員長が所属する学校及び県立高校再編整備推進室に置く。

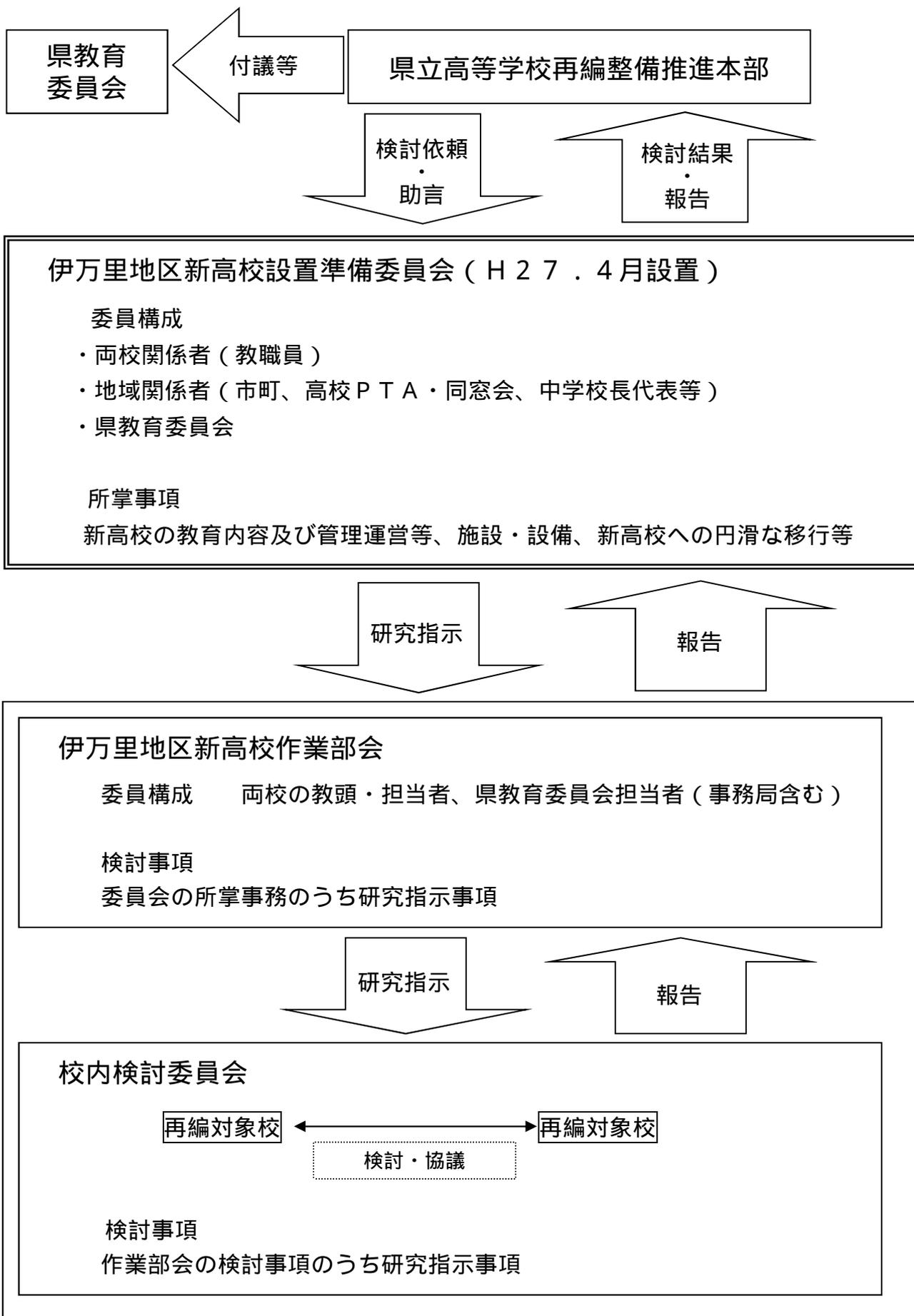
(補足)

- 第6条 この要領に定めるもののほか、委員会及び作業部会の運営に必要な事項は委員長が委員会に諮って定める。

別表（第1条関係）

委 員 会 名	再 編 等 対 象 校
伊万里地区新高校 設置準備委員会	伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校
杵島地区新高校 設置準備委員会	白石高等学校、杵島商業高等学校
新巖木高校 設置準備委員会	巖木高等学校
鹿島地区新高校 設置準備委員会	鹿島高等学校、鹿島実業高等学校
嬉野地区新高校 設置準備委員会	塩田工業高等学校、嬉野高等学校

伊万里地区新高校設置に向けた検討体制



No.	所属・職名	氏名	備考
1	伊万里商業高等学校 校長	熊谷 正実	委員長・学校関係者
2	伊万里農林高等学校 校長	青木 久生	副委員長・学校関係者
3	伊万里商業高等学校 教頭	大川内弘紀	学校関係者
4	伊万里農林高等学校 教頭	外戸口良文	
5	伊万里市教育長	森 哲也	伊万里市関係者
6	伊万里市政策経営部長	佐藤 弘康	
7	伊万里商業高等学校 同窓会代表	森 日出生	地元関係者
8	伊万里農林高等学校 同窓会代表	岩永 康則	
9	伊万里商業高等学校 P T A代表	山崎 高広	
10	伊万里農林高等学校 P T A代表	池田 和幸	
11	伊万里市立伊万里中学校 校長	朝長 省吾	中学校関係者
12	教育総務課長	築地 裕樹	県教委関係者
13	教育振興課長	五反田 進	
14	教職員課長	青木 勝彦	
15	学校教育課長	大井手 広毅	
16	教育情報化支援室長	碓 浩一	
17	保健体育課長	牛島 徹	
18	県立高校再編整備推進室 室長	原 和弘	
事務局	伊万里商業高等学校教諭	坂口 哲也	
	伊万里商業高等学校教諭	松尾 武	
	伊万里農林高等学校 指導教諭	松尾 信寿	
	伊万里農林高等学校教諭	藤 一郎	
	県立高校再編整備推進室 企画主幹	山下 秀司	
	県立高校再編整備推進室 企画主査	杉本 耕一郎	